

○「令和4年度 鹿行地域サツマイモ基腐病侵入防止研修会」を開催しました。

県北地域において本県で3例目となるサツマイモ基腐病が発生したことから、急遽、鹿行管内への当病の侵入防止のため、6月10日に管内各農業協同組合、任意組合の生産者の方を対象に研修会を開催しました。

研修会では、サツマイモ基腐病の病徴や防除対策、感染が疑われる症状が発見された場合の対応について、県農業総合センター病害虫防除部、当所から説明し、生産者に対して、育苗床やほ場で疑わしい株がないか、日頃から確認するよう呼びかけました。

サツマイモ基腐病の侵入・まん延防止には、菌を持ち込まない・増やさない・残さないことが重要です。鹿行管内での発生・まん延防止のため、早期の発見が重要ですので、疑わしい症状を確認した場合は、発生株(場所)の場所を特定するため、株の抜き取り等を行わず、管轄の経営・普及部門、普及センターへ連絡をお願いします。

